

2007年度

常磐大学同窓会総会・懇談会開催 ―設立二〇周年を迎えて同窓会支部設立促進へ

二〇〇七年常磐大学同窓会総会、記念講演会および懇談会が、六月十六日(土)に水戸京成ホテルで開催され、約一〇〇名の卒業生が一堂に会しました。

大学同窓会会則の改正、常磐大学同窓会設立二〇周年記念事業、事業計画案、予算案に係る同意が満場一致で可決され、議事は終了、総会は閉会しました。

に密着した大学として、地域や社会に貢献できる人材を育成し、社会に送り出したいので、卒業生の皆様のご協力とご支援を賜れば幸いです。」とのメッセージをいただきました。

総会は池田正則会長(第一期卒)が「この二〇年で大きく環境が変わり、大学運営も厳しい状況になってきていると思います。同窓会として大学運営に少しでも協力できたらと考えていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。」と挨拶され、続いて議長指名、議事へと進行し、事業報告、決算・監査報告、入会状況報告、役員選任報告、そして常磐大学同窓会支部の設立に関する細則の整備についての報告がなされました。議事の決議では、常磐

懇談会では、顧問であるコミュニティ振興学部学部長の伊佐山忠志先生に、「地域に密着した大学として発展するためには、卒業生の皆様のご協力とご支援が不可欠であり、今後とも、皆様のご協力とご支援をお願いしたい。」とのご挨拶をいただきました。

また、名譽会長の高木勇夫学長から常磐大学が一九八三年に誕生し、第一期の卒業生が学巣を巣立って以来、本年で二〇年が経過しました。この間九、一五〇名の卒業生を社会に送り出すことができました。地元

齊藤久展副会長(第一期卒)の発声で乾杯した後、二〇年を振り返る映像が流されました。過去の学園祭や体育祭などの映像に映っている当時の仲間の様子に一喜一憂し、大いに盛りあがりました。最後は西野光範副会長(第二期卒)の三本締めで盛況のうちに閉会しました。

人間科学部一〇期 秋山 隼人さん「これからもますます同窓会が盛りあがっていくよう同窓会の皆様、がんばっていきましょう」

人間科学部一〇期 手島 弘之さん「同窓会館の館長をしております。同窓会館は無料で使うことができますので、是非クラス会や学年の同窓会等で使用いただければと思います。ホームページでもご案内をしておりますので、見ていただいて、ご連絡いただければと思います。」



先生方と人間科学部第1期卒～10期卒の参加者



先生方と、人間科学部第11期卒～21期卒、国際学部卒、コミュニティ振興学部卒の参加者



○出席者コメント

人間科学部十八期 梶 正憲さん
「初めて参加したが、知り合いとも会えたのでよかった」

人間科学部一〇期 秋山 隼人さん
「これからもますます同窓会が盛りあがっていくよう同窓会の皆様、がんばっていきましょう」

人間科学部一〇期 手島 弘之さん
「同窓会館の館長をしております。同窓会館は無料で使うことができますので、是非クラス会や学年の同窓会等で使用いただければと思います。ホームページでもご案内をしておりますので、見ていただいて、ご連絡いただければと思います。」

20年のあゆみ

常磐クローニクル

常磐大学が開学したのは、1983(昭和58)年。そして、第一期生が卒業し、同窓会が設立されたのが、1987(昭和62)年。今年、2007(平成19)年は同窓会設立20周年にあたります。開学当初は、人間科学部のみで単科大学だった常磐大学も、いまや人間科学部、国際学部、コミュニティ振興学部の3学部を擁するまでになりました。簡単に20年の歩みを常磐大学の変遷や社会の情勢とともに振り返ります。

西暦

出来事等

1983年 開学(人間科学部人間関係学科、コミュニティシオン学科)

1987年 常磐大学同窓会設立
第一期生卒業(184名)

1988年 「サラダ記念日」(新語・流行語大賞)より、以下同じ)

1988年 人間科学部に組織管理学科増設
瀬戸大橋開通

1989年 昭和天皇没 皇太子明仁即位 「平成」と改元
「アッシーくん」

1990年 「バブル経済」

1991年 湾岸戦争
Jリーグ開幕

1993年 阪神・淡路大震災
地下鉄サリン事件

1995年 「だ・よ・ね(DA・YO・NE)」
「ま、いっか(MAICCA)」

1996年 国際学部設置(国際協力学科、国際ビジネス学科)
長野冬季オリンピック

1998年 東海村臨界事故
「リベンジ」

1999年 総会・懇談会・講演会(田崎真也氏)
コミュニティ振興学部設置
「コミュニティ文化学科、ヒューマンサービス学科」
「プロジェクト」
「一式」寄贈
アメリカ同時多発テロ



常磐大学同窓会支部細則

制定 2007年5月26日 幹事会

- (目的)
第1条 この細則は、常磐大学同窓会会則（以下、会則）第21条に定める支部に關して必要な事項を定める。
- (単位)
第2条 支部は次の単位とする。
1. 都道府県
2. 卒業年度
3. セミナール
4. サークル
5. その他、幹事会が認めたもの
- (構成員)
第3条 支部は会員20名以上をもって組織する。ただし、前条第1号については、10名以上をもって組織することを認める。
② 支部には、支部長および副支部長を置く。
- (申請)
第4条 支部の設立にあたっては、次の書類を事務局に提出するものとする。
1. 支部設立願
2. 支部員名簿
3. 支部章程
4. 支部事業計画
5. その他、幹事会が必要と認める書類
② 前項第1号から第3号について変更した場合は、すみやかに事務局へ報告しなければならない。
- (設立審査)
第5条 支部の設立にあたっては、前条で定める提出資料を基に事務局にて審査を行い、幹事会で承認を得るものとする。
② 前項の幹事会承認日をもって、支部の設立とする。
- (活動報告)
第6条 支部は、次の書類を事務局に提出しなければならない。提出時期は毎年4月末日までとする。
1. 当年度事業計画書
2. 前年度事業報告書
3. その他、幹事会が必要と認める書類
- (解散)
第7条 支部が解散しようとする場合には、次の書類を事務局に提出し、幹事会の承認を得るものとする。
1. 解散届
2. 解散理由書
② 支部の活動が次の事項に該当する場合、幹事会は、その支部を解散させることができる。
1. 本細則に定める事項が遵守されていないと認められる場合
2. 常磐大学同窓会の名誉を著しく傷つけた場合
③ 本条第1項および第2項の幹事会承認日をもって、支部解散とする。
- (経費補助)
第8条 支部の設立および運営にあたり、必要な経費が生じる場合には、経費補助として、補助金を受け取ることができる。
② 補助金は、当該年度の予算範囲内において、1支部あたり50,000円を上限とする。
③ 経費補助を受けた場合は、会計報告書および幹事会が必要と認める書類を提出しなければならない。提出時期は毎年4月末日までとする。
- (経費補助申請)
第9条 支部設立にあたって、経費補助を受けるときは、第4条に規定する申請の際に、次の各号の書類を提出するものとする。
1. 必要経費申請書
2. 見積書
3. その他、幹事会が必要と認める書類
② 支部運営にあたって、経費補助を受けるときは、前項各号の書類を、補助金を受けようとする前年度の12月15日までに、事務局に提出するものとする。
- (経費補助審査)
第10条 経費補助にあたっては、前条で定める提出資料を基に事務局にて審査を行い、幹事会で承認を得るものとする。
② 前項で承認された経費補助の支給は、原則として毎年4月末日までとする。ただし、幹事会が認めた場合にはこれを変更することができる。
- (補助金の返還)
第11条 補助金の使途が次の事項に該当する場合、幹事会は、支部長と協議の上、補助金の一部あるいは全部を返還させることができる。
1. 申請した目的以外に、使用したと認められる場合
2. 補助金の執行が申請内容と著しく異なる場合
3. その他、幹事会により返還の必要があると認められる場合
- 附則
1. この細則の改定は、幹事会出席者の3分の2以上の同意を必要とする。
2. この細則は2007年6月16日より施行する。
3. 2007年度に運営経費補助を受けようとする場合、第9条第2項に規定する提出期限については、事務局と協議の上決定する。

常磐大学同窓会設立20周年記念事業

1. 常磐大学同窓会設立20周年記念講演会

実施内容：2007年度総会にあわせ設立20周年を記念した講演会を実施
対象者：会員及び非会員（同窓会総会・懇談会出席者）
実施目的：著名人の講演会を開催し、総会・懇談会へのより多くの同窓生の出席を促し、同窓生相互の親睦・交流の場を提供するとともに、非会員への入会促進を図る。

2. 在学生表彰（例：同窓会長賞）の創設

実施内容：本会より母校へ在学生向け表彰（例：同窓会長賞）の創設について働きかけを行い、創設された場合、その副賞の資金として、本会より寄付を行う。（詳細については、母校と検討の上決定）
対象者：在学生のうち、学業や課外活動等で顕著な成績や成果をあげた個人または団体
実施目的：在学中の諸活動で、顕著な成績や成果を上げた個人や団体に対して賞を授与することにより、在学生の諸活動の活性化を支援し、本会及び本会の活動に対する認知度、理解度の向上を図る。

3. 常磐大学同窓会支部設立促進活動

実施内容：支部設立に関する細則の整備および支援
対象者：会員
実施目的：支部設立を促進し、会員相互の交流の活性化を図ることにより、本会並びに母校の更なる発展に寄与する。
実施期間：2007年度より3年間
特典：上記期間については支部設立支援として、細則に定める経費補助の他、3万円を上限とする設立案内状等の発送業務代行を行う。（発起人が指定する会員への、案内状の印刷・発送・封筒の費用を負担し作業を代行する。個人データの提供は行わない。）

2006年度 常磐大学同窓会事業報告

1. 2006年度常磐大学同窓会総会および懇談会の開催
○開催日：2006年6月11日（土）
○場所：三の丸ホテル
○出席者：69名
○主な議案等：
【報告】2005年度事業報告、決算報告、入会状況
【議案】2006年度事業計画、予算案の審議
※総会終了後、懇談会を開催
2. 幹事会の開催
○実施時期および主な議案等：
5月 2005年度事業報告、2005年度決算について 等
11月 2006年度総会報告
学生支援事業報告、設立20周年記念事業、支部細則について 等
3月 2007年度事業計画、2007年度予算について 等
3. 学生支援事業
1) 学園祭への援助金（2006年10月）
2) 記念体育館へのステージ幕一式支出（2007年2月）
4. 会員への大規模の発信
○時期：第3号（7月31日発行）、第4号（1月31日発行）
○内容：会報「ときわの風」を発行し、会員へ送付
5. 常磐大学同窓会ホームページの維持および管理
○時期：随時更新
○内容：総会開催模様掲載、異動情報受付 等
6. 卒業生の個人情報管理
○時期：随時更新
○管理情報：氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル 等
7. 卒業生状況調査
○調査時期：9月
○管理情報：氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル 等

2007年度 常磐大学同窓会事業計画

1. 定期事業計画

月	事業内容
4	
5	幹事会（前年度決算報告、前年度事業報告）
6	総会・設立20周年記念講演会
7	同窓会会報（第5号）発送
8	
9	
10	幹事会 学生支援事業（学園祭援助）
11	
12	
1	
2	同窓会会報（第6号）発送
3	幹事会（次年度予算案承認、次年度事業計画案承認）

2. その他の事業計画

- 1) 学生支援事業（在学生表彰賞）
- 2) 卒業生の個人情報管理
- 3) 常磐大学同窓会ホームページ維持・管理
- 4) 同窓会支部設立促進活動

(補足)
1) 同窓会会報には、総会の議決内容・報告内容を掲載する。
2) 単年度名簿の発行は、個人情報保護法の完全施行に伴い見合わせる。

2006年度 常磐大学同窓会決算書

(単位：円)

項目	決算額	予算額	差異額	備考
収入の部				
会費収入	15,400,000	15,720,000	△ 320,000	新入会員 770名
事業収入	140,500	140,000	500	総会・会費 出席者 69名 × @2,000円 託児室利用料 5名 × @500円
雑収入	366,364	250,000	116,364	資金運用収入・預金利息 等
小計	15,906,864	16,110,000	△ 203,136	
前年度繰越金	75,467,011	75,467,011	0	運用資金(50,000,000円)含む
合計	91,373,875	91,577,011	△ 203,136	
支出の部				
人件費支出	10,000	20,000	△ 10,000	総会託児室アルバイト代
消耗品費支出	85,852	163,000	△ 77,148	印刷用紙、総会関係消耗品 等
交通費支出	25,610	115,000	△ 89,390	総会費・幹事会出席者(幹事会外)交通費
庶務費支出	72,257	100,000	△ 27,743	会員・現職教員・旧教員の過去に付する香典 諸済みよ記念館竣工記念御祝(生花)
通信費支出	1,709,475	2,613,000	△ 903,525	総会案内・会報・卒業生状況調査等 郵送料 (卒業生状況調査回答の郵送料を含む)
印刷費支出	777,210	814,000	△ 36,790	総会案内・会報等 印刷費
会議費支出	357,512	517,000	△ 159,488	総会・幹事会 会議費
渉外費支出	4,080	15,000	△ 10,920	会報原稿執筆謝礼
業務委託費支出	209,143	218,000	△ 8,857	送付物(会報等)袋詰り作業 委託費
雑費支出	1,785	10,000	△ 8,215	振込手数料
支援事業費支出	1,050,000	1,050,000	0	体育館源氏幕寄贈、学園祭援助
小計	4,302,924	5,635,000	△ 1,332,076	
次年度繰越金	87,070,951	85,942,011	1,128,940	運用資金(50,000,000円)含む
合計	91,373,875	91,577,011	△ 203,136	

2007年度 常磐大学同窓会予算書

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額	備考
収入の部				
会費収入	13,500,000	15,720,000	△ 2,220,000	2007年度入会者(新年670名+既卒5名×20,000円)
事業収入	520,000	140,000	380,000	懇談会会費収入(160名×2,000円+40名×5,000円)
雑収入	50,000	250,000	△ 200,000	預金利息等
積立金等運用収入	324,000	0	324,000	
小計	14,394,000	16,110,000	△ 1,716,000	
前年度繰越金	現預金 37,070,951	75,467,011	△ 38,396,060	
積立金等	50,000,000	0	50,000,000	オリックス株式会社債、日本生命社債
小計	87,070,951	75,467,011	11,603,940	
合計	101,464,951	91,577,011	9,887,940	
支出の部				
人件費支出	20,000	20,000	0	総会補助等
消耗品費支出	156,000	163,000	△ 7,000	印刷用紙、印刷機消耗品、総会関係等
交通費支出	115,000	115,000	0	幹事会出席幹事交通費等
庶務費支出	100,000	100,000	0	庶務関係
通信費支出	2,624,000	2,613,000	11,000	総会通知、会報送付、支部設立支援等
印刷費支出	1,019,000	814,000	205,000	会報、封筒印刷等
会議費支出	1,230,000	517,000	713,000	総会、幹事会等
渉外費支出	20,000	15,000	5,000	会報原稿執筆謝礼、取材先土産等
業務委託費支出	245,000	218,000	27,000	送付物袋詰り作業等
雑費支出	10,000	10,000	0	振込手数料
支援事業費支出	1,350,000	1,050,000	300,000	学生支援事業、支部運営補助
報酬手数料支出	1,000,000	0	1,000,000	講演会謝金等
小計	7,889,000	5,635,000	2,254,000	
前年度繰越金	現預金 43,575,951	85,942,011	△ 42,366,060	
積立金等	50,000,000	0	50,000,000	オリックス株式会社債、日本生命社債
小計	93,575,951	85,942,011	7,633,940	
合計	101,464,951	91,577,011	9,887,940	

学生支援事業報告



2006年度学生支援事業の一環として、C棟記念体育館に源氏幕を寄贈（購入資金一部援助）しました。今後とも学生のための有効な支援事業を行っていかうと思います。

2007年 2006年 2005年 2004年 2003年 2002年

総会・懇談会・講演会（陣内貴美子氏）以後総会・懇談会は毎年開催
学生ラウンジ用テレビ2台 寄贈
第17回 サッカーワールドカップ 韓国・日本大会
学園祭用『テント20張』寄贈
「マニフェスト」
記念体育館に『演台』寄贈
人間科学部人間関係学科、組織管理学科を改組し、現代社会学科を設置
国際学部国際協力学科、国際ビジネス学を改組し、国際関係学部（国際協力学専攻、国際ビジネス学専攻）、英米語学科を設置
O棟1階インターネットカフェ「ラバツア」に『カウンターテーブル4台と椅子12脚』寄贈
会報『ときわの風』創刊
記念体育館に『源氏幕』寄贈
コミュニケーション振興学部地域政策学科増設
「イナバウアー」
設立20周年記念講演会（安藤和津氏）支部細則制定
在学生表彰の創設準備中
会員6,468名（卒業生9,150名）



2006年度 体育会活動報告(秋季)

硬式野球部

部長：千葉 敦
監督：石川 清一
部員数：53名(大学52名 短大1名)

○関甲新学生野球
秋季リーグ戦1部(3部中1部)

常磐大学	1-3	上武大学
常磐大学	3-6	上武大学
常磐大学	0-1	白鷗大学
常磐大学	10-7	白鷗大学
常磐大学	5-15	白鷗大学
常磐大学	2-6	作新学院大学
常磐大学	0-4	作新学院大学
常磐大学	3-1	平成国際大学
常磐大学	2-12	平成国際大学
常磐大学	3-7	平成国際大学
常磐大学	0-2	山梨学院大学
常磐大学	2-3	山梨学院大学
2勝10敗	6位	

剣道部

部長：小澤 聡
部員数：男子16名
女子12名(大学25名 短大3名)

○第55回 関東学生剣道優勝大会

常磐大学	3-0	関東学園大学
常磐大学	3-2	関東学園大学
2勝1敗	1部リーグ残留	

○第52回 関東学生剣道新人戦大会

常磐大学	0-4	青山学院大学
一回戦	シード	
二回戦		
常磐大学	2-2	茨城大学
(代表勝ち)		

弓道部

部長：佐藤 環
部員数：15名(大学13名 短大2名)

○平成18年 秋季リーグ戦

男子 1部 (3部中1部)		
常磐大学	78-106	宇都宮大学
常磐大学	86-114	茨城大学
常磐大学	75-123	筑波大学
常磐大学	72-89	群馬大学
0勝4敗		

入れ替え戦

常磐大学	62-90	高崎経済大学
2部降格		
女子 2部 (2部中2部)		
常磐大学	31-27	白鷗大学
常磐大学	23-26	帝京大学理工学部
常磐大学	30-18	流通経済大学

常磐大学 1-4 日本体育大学
○第7回 関東女子学生剣道新人戦大会

一回戦	シード	
二回戦		
常磐大学	2-1	帝京大学
三回戦		
常磐大学	0-5	法政大学

結婚された方

- 瀬下真由美さん「人間科学部14期」(旧姓：平塚)
- 菊地麻里さん「人間科学部14期」(旧姓：宮野)
- 菊地秀和さん「人間科学部16期」(旧姓：相良)
- 堀口昌弘さん「人間科学部19期」
- 堀口真由美さん「人間科学部19期」(旧姓：相良)
- 五十嵐早月さん「人間科学部19期」(旧姓：庄子)
- 安達祐介さん「人間科学部20期」
- 安達智絵さん「人間科学部20期」(旧姓：太田)

おくやみ

- 服部雅洋さん「人間科学部10期」
- 小室洋輔さん「国際学部5期」

常磐大学 25-15 国際医療福祉大学
3勝1敗 2部残留

※上記三部以外にも体育会各部活動しています。今後にご期待下さい。

MESSAGE

変わる転社・転職観

同窓会の皆様にはお元気に御活躍のこととお慶び申し上げます。私と常磐大学とのご縁はまだ大学の設立される前の昭和五十五年、短大の教養科に国際コースが設けられることになり、国際政治経済論と経済学演習担当の非常勤講師として赴任したのが始まりで、爾来二十八年の歳月が流れようとしています。

同窓会会報ということでは何か思えばなしとも考えたのですが、これまで私が比較的長く学生諸君の就職問題にかかわってきたことや、またここ数年、卒業生の転社・転職・進学相談を受けたら、その成功・失敗談などを耳にする機会

が増えたことなどから今日は卒業生に少し関係ありそうな話をしたいと思います。

ある調査によると、日本のサラリーマンは職場の勤務条件や人間関係に満足している人が三割程度で、そのうち七、八割の人が一度は転社・転職を考えたことがあり、実際増えているという。恐らくこの背景には、団塊世代の退職や少子化の影響に加え、景気回復にもなう即戦力としての人材の採用が活発化していること、更には転職専門会社の設立や転職サイトの充実など、支援体制が整ってきたことがあると思われる。

実は、かく云う私自身過去に二度の転職経験があるのですが、偶

に授業でこのはなしをすると学生諸君は講義以上に(?)真剣に聴き入っているようです。あくまで将来の参考までにということでしようが、学生諸君は自身の就活はまだなのはこの手のはなしには興味があるらしいのです。

私の場合、銀行勤務、大学院生、経済研究所、そして常磐大学と身分や籍が変わりましたが、銀行を退職するに際しては特に不満があつた訳ではなく、むしろ自分

は合っていると感じていました。ただ、学生時代ゼミで専攻した国際経済学に



国際学部 国際関係学科教授 粕谷 雄二先生

明治大学大学院政治経済学研究科 経済学専攻博士課程単位取得満期退学。
学位：経済学修士。
専門：国際経済学、開発経済学。

はいささかやり残したとの想いがありました。結局この想いが引き金になり銀行を離れることになりました。

もし、同窓生の中に転職をお考えの方がおられるとしたら、私の経験や見聞した成功談などから云えることは、熟慮に熟慮を重ね、決断した以上は自分の行動に責任をもち努力するというものではな

編集後記

この会報が同窓生の手元に届く頃には、梅雨も明け、今年から新設された「猛暑日」が続いているのだから。気がつけば、大学を卒業して、すでに五年が過ぎた。

同窓会は、今年設立二〇周年を迎え、先日、総会・懇談会と記念講演

会を無事終えることができた。また「とぎわの風」も4面の拡大版。同窓会の活動も活発になってきた。大学では、そろそろ在学が、「とぎわ祭」の準備をはじめている。同窓生の皆さん、現在の学生の様子や、キャンパスを見に、お友達を誘って「とぎわ祭」(10/27日・28日)に足を運んでみてはいかがですか。(久)

施設紹介

諸澤みよ記念館

二〇〇六年十二月八日、常磐大学卒業生センター敷地内に、二〇〇九年を迎える学校法人常磐大学開学一〇〇周年記念事業の一環として「諸澤みよ記念館」が開館しました。

階建て洋館建築です。記念館では、一、二階に各々設けられた四つのギャラリーの展示物を通して、みよ先生の業績を顕彰し、その精神と生涯を明らかにしています。また、みよ先生の生涯とともにあった常磐のあゆみ、特色もあわせて紹介しています。四つのギャラリーだけでなく、エントランスホール、ラウンジなどそれぞれのスペース毎に雰囲気ガラリと変わり、先進のテクノロジーを使用したさまざまな展示を展開しています。



開館時間 10:00 ~ 16:00
休館日 日曜日・祝祭日
本学創立記念日
夏季・冬季本学一斉休業期間
延床面積 71.72坪(236.681㎡)
お問合せ 学校法人常磐大学卒業生センター
Tel & Fax 029-231-8162

常磐大学吹奏楽団同奏会2007開催!



常磐大学吹奏楽団のOB会である「TOKIWAおんぶの会」では、来る11月に、卒業生による演奏会を開催します。吹奏楽団卒業生の「同窓会のような演奏会」を開催し、常磐大学同窓会の活動の一翼をになうことができればと、現在、練習に励んでいるところです。題して、同奏会2007、ぜひご来場ください!!

■日 時 2007年11月23日(金・祝) 14:00開演(13:30開場)
■会 場 ひたちなか市文化会館 大ホール [入場無料] 茨城県ひたちなか市青葉町1-1 Tel. 029-275-1122
■お問い合わせ TOKIWAおんぶの会 事務局 Tel. 029-276-0631 (平塚)

【掲載文募集】 同窓会事務局では、会報「とぎわの風」に掲載する会員の皆さまからの投稿を募集しています。日々の雑感・近況報告などをお寄せください。(編集の都合上800字程度でお願いします。)なお、掲載された方には、薄謝ですが、「QUOカード」をお送りいたします。【送付先】〒310-8585 常磐大学同窓会事務局 または、dosokai@tokiwa.ac.jp